



平成29年10月23日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理部門統括 白石 亙
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	340	295	195	27.54
今回修正予想(B)	9,011	409	379	213	30.08
増減額(B-A)	511	69	84	18	
増減率(%)	6.0	20.3	28.5	9.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	7,883	304	206	122	17.30

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	680	590	390	55.07
今回修正予想(B)	17,800	800	700	420	59.31
増減額(B-A)	800	120	110	30	
増減率(%)	4.7	17.6	18.6	7.7	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	16,654	518	445	211	29.84

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,400	135	120	100	14.12
今回修正予想(B)	4,485	31	39	24	3.39
増減額(B-A)	85	△104	△81	△76	
増減率(%)	1.9	△77.0	△67.5	△76.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	3,992	104	238	280	39.59

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	270	280	235	33.18
今回修正予想(B)	9,200	230	240	200	28.24
増減額(B-A)	400	△40	△40	△35	
増減率(%)	4.5	△14.8	△14.3	△14.9	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	8,227	225	376	392	55.40

修正の理由

【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、日本セグメント及び東アジアセグメントにおいて、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を511百万円上回る9,011百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を69百万円上回る409百万円、経常利益は前回予想を84百万円上回る379百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を18百万円上回る213百万円となる見込みです。

通期につきましては、日本セグメント、東アジアセグメントの需要は堅調ではあるものの、世界経済を取り巻く状況は地政学的リスクも含めて不透明感な部分もある為、売上高は前回予想を800百万円上回る17,800百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を120百万円上回る800百万円、経常利益は前回予想を110百万円上回る700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を30百万円上回る420百万円となる見込みです。

【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を85百万円上回る4,485百万円となりましたが、販売機種の構成比率の変化(標準機の構成比率が低下し海外向けの案件を中心に生産子会社からの仕入品の構成比率が増加)や、国内向けの案件における据付工事費用の増加等により売上総利益率が低下し、営業利益は前回予想を104百万円下回る31百万円、経常利益は前回予想を81百万円下回る39百万円、四半期純利益は前回予想を76百万円下回る24百万円となる見込みです。

通期につきましては、足元の受注が引き続き堅調であることより、売上高は前回予想を400百万円上回る9,200百万円となる見込みです。損益面におきましては、年度後半は売上総利益率の改善を見込んでおりますが、年度前半の悪化をカバーするには至らず、営業利益は前回予想を40百万円下回る230百万円、経常利益は前回予想を40百万円下回る240百万円、当期純利益は前回予想を35百万円下回る200百万円となる見込みです。

以上